



みやま

真庭市立木山小学校だより

R6年度 第23号

令和6年 10月30日(水)発行

ご参観ありがとうございました

10月23日(水)は参観日でした。参観授業、学級懇談、人権講演会と続く盛りだくさんな内容でしたが、大勢の保護者の方にご来校いただき、ありがとうございました。

運動会が終わって3週間あまり。参観授業では、学年の折り返し地点を過ぎた子どもたちの様子を見ていただくとともに、学級懇談で担任から子どもたちの様子についてお伝えさせていただきました。

また人権講演会では、NPO法人レインボーハート okinawa 竹内清文理事長を講師にお迎えし、講演会&ワークショップを実施しました。4~6年生児童と保護者の方に加え、「明日の木山学区をつくる会」人権推進部員の方もご参加くださいました。

子どもたちはワークショップの中で、「認めるとは」「十人十色の学校とは」ということについて、1人1人がしっかりと考え自分の言葉で考えを綴っていました。1人1枚書いたピンクのふせんは、4年生が全員分を模造紙にかわいらしくレイアウトして貼ってくれたので、東階段の壁面に掲示しています。



竹内理事長が子どもたちに語られた「まわりと違って大丈夫。違う人同士が集まることで気づけることがあり、1人では気づけないことをカバーし合うことができる」学校をみんなだめざしていきたいと思います。

1~3年生酪農体験「学校へ行ってミルク」

10月22日(火)に蒜山イキキ楽農協議会主催の「学校へ行ってミルク」事業を1~3年生が体験しました。蒜山からジャージー牛の子牛1頭と、搾乳体験用の模型の牛が運動場にやってきました。

子どもたちは順番に子牛の拍動を聴診器で聞いたり、体に触ったりして触れ合いを楽しみました。続いて模型の牛で搾乳体験をしました。教えていただいた通りに乳房を絞ると、ミルク代わりの白い水が出てきて、子どもたちもびっくりしている様子でした。



屋外での体験を終えると音楽室に移動し、蒜山の酪農についてのDVDを見たり生産者の方のお話を聞いたりしました。最後に新作の蒜山ジャージーヨーグルトを試食させて

いただきました。まだ一般店舗で発売されていないレア商品ということもあり、子どもたちはひと口ひと口大切に味わっていただいていたようです。

体験を通じて子どもたちは蒜山地区の酪農について理解を深め、蒜山の自然や乳牛についても親しみを感ずることができました。



3年生消防署見学



10月24日(木)に3年生が、社会科の授業の一環として真庭消防署に見学に行きました。消防署に到着すると、駐車場では、年に1~2回しか行わない、テロや有毒物質発生対応訓練が行われていました。防護服姿の隊員の方の本番さながらの訓練を見ることができました。消防署の方が1つ1つの動きを丁寧に説明してくださり、子どもたちも興味津々で見学をしていました。

次に救助工作車やポンプ車を見せていただきました。救助工作車には、交通事故の際に人を助け出すために車を切断する道具があったり、高いところでも作業できるようにはしごがついていたりしました。実際に道具も持たせてもらいましたが、とても重く、仕事の大変さを感じていました。

また、消火活動の際に着用する消防服も着用させていただきました。上着を羽織るだけでしたが、子どもたちは嬉しそうでした。訓練途中という大変な中でも消防署

の方は丁寧に分かりやすく説明をしてくださり、子どもたちも熱心にメモを書きながら話を聞くことができました。限られた時間の中での見学ではありましたが、訓練の見学もでき、子どもたちにとっては貴重な学びになりました。

5年生ミシンボランティア

家庭科でミシン学習に取り組んでいる5年生がナップザックを作製しました。キルティングの布地に印つけをし、「しつけ」をした後、ミシンで縫っていく作業に、今年も2名の方が2日間ボランティアとして応援に入ってくださいました。

縫っていくうちにミシンにトラブルが生じるとボランティアの方が調整してくださったり、操作の仕方を優しくアドバイスしてくださったりするので、子どもたちも安心して作業に取り組んでいました。おかげさまで2日目にはほとんどの子どもたちが縫い上がり、とても満足そうにしていました。大変お世話になり、ありがとうございました。

